

**在スロバキア日本国大使館**  
**政治・経済月報（2016年1月）**

目 次

**内 政**

- ◆ムスリム共同体に関する外相等の発言 . . . . . 2
- ◆政党支持率調査結果 . . . . . 2

**外 政**

- ◆スロバキア・リトアニア外相会談 . . . . . 2
- ◆ライチャーク外相のEU外務理事会出席 . . . . . 3
- ◆ライチャーク外相のセルビア及びコソボ訪問 . . . . . 3
- ◆スロバキア・チェコ首相会談 . . . . . 3

**社 会**

- ◆2015年の犯罪発生数 . . . . . 3
- ◆ホロコースト博物館の開館 . . . . . 4

**経 済**

- ◆2015年の自動車生産台数100万台達成 . . . . . 4
- ◆スロバキア及びイラン企業の契約合意 . . . . . 4
- ◆スロバキア中央銀行月報（1月） . . . . . 5

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

## 内 政

### ◆ムスリム共同体に関する外相等の発言（13日付TASR通信）

ライチャーク外相は、スロバキアには社会的に統合されている約5000人のムスリム共同体が存在し、同共同体がスロバキア社会に貢献していると述べた。同外相は、国内におけるムスリム共同体の誕生を望まないとするフィツォ首相の発言について、「フィツォ首相は審査を受けない移民の流入について指摘しようとした。我々は欧州に来ているすべての人々が何者なのかをいまだに知らない」と説明した。フィツォ首相は7日の記者会見において、スロバキアを脅威から守る必要があり、リスクを最小化する唯一の方法は、難民の割り当て義務を履行した場合に起こり得る密集したムスリム共同体の誕生を阻止することであると訴えていた。

### ◆政党支持率調査結果（25日付スメ紙）

世論調査機関Focus、Polis及びMVKによる1月の政党支持率及び予想獲得議席数の調査によると、仮に1月に選挙が行われた場合、国会の議席を獲得するのは7政党である。Polis及びMVKの調査では、SMKが支持率5%を越えて議席を獲得し、SaSは議席を獲得できない見込みとなっている。

政党	Focus	Polis	MVK
Smer（方向）	37.0%(67)	41.0%(70)	34.5%(61)
Siet（ネットワーク）	13.2%(24)	13.8%(24)	14.7%(26)
SNS（スロバキア国民党）	7.2%(13)	7.9%(13)	10.1%(18)
KDH（キリスト教民主運動）	7.0%(13)	6.0%(10)	8.6%(15)
Most-Hid（架け橋）	7.0%(13)	8.9%(14)	6.5%(12)
OLaNO－Nova（普通の人々・独立した人達－新たな多数派）	6.1%(11)	6.0%(10)	5.0%(9)
SaS（自由と連帯）	5.1%(9)	－	－
SMK（ハンガリー系コミュニティ党）	－	5.3%(9)	5.1%(9)

## 外 政

### ◆スロバキア・リトアニア外相会談（15日）

ライチャーク外相は、リトアニアのトラカイで開催された安全保障に関する非公式会合「スノーミーティング」出席に際し、リンケビチュウス・リトアニア外相と会談を行った。ライチャーク外相は、問題や懸案がなく、より緊密な経済交流の余地があるスロバキア・リトアニア関係を高く評価した。外交・政治の優先課題及び両国の地理的位置付けに関連して、両外相は東方パートナーシップ諸国の改革支援の継続及びEUとのより緊密な協力の促進の必要性につ

いて合意した。

#### ◆ライチャーク外相のEU外務理事会出席（18日）

ライチャーク外相は、今回の外務理事会が有益な意見交換の機会になったとの認識を示した。同外相はウクライナに関して、「改革の促進に議論の重点が置かれた。ウクライナの指導者たちは明確な決断力を示す必要がある」と述べた。シリアに関する議論では、ロンドンで開催されるドナー会合に関するEU提案の調整等が取り上げられた。EU加盟国の外相はイラクに関して、人道的状況の改善、ダーイシュ（ISIL）支配下にあった地域の安定化という現状の課題に焦点を当てた。イラク国内の和解プロセス支援や行政改革についても取り上げられた。

#### ◆ライチャーク外相のセルビア及びコソボ訪問（18日）

コソボ治安維持部隊の任務からの帰還途中、飛行機事故によって亡くなった42名のスロバキア軍兵士の悲劇から10年目の日に、ライチャーク外相はプリシュティナにおいて慰霊碑の除幕式を行い、アヒヤーガ・コソボ大統領と共に慰霊碑に献花を行った。同外相はムスタファ・コソボ首相及びサチ・コソボ外相と個別に会談を行い、コソボを含む西バルカン全体へのスロバキアの支援を協調した。ライチャーク外相はプリシュティナの前に訪問したベオグラードにおいて、ダチッチ・セルビア外相と会談した。外相会談では、主にセルビアとEUとの加盟交渉が取り上げられた。また、ライチャーク外相はセルビア・コソボ関係の正常化プロセスの継続についても言及した。

#### ◆スロバキア・チェコ首相会談（26日）

フィツォ首相は、ブラチスラバを訪問したソボトカ・チェコ首相と会談を行った。ソボトカ首相は会談終了後、V4諸国が2月15日にプラハにおいて、欧州の移民問題の解決を議論するための臨時首脳会議を開催することを明らかにした。フィツォ首相は、「V4の臨時首脳会議はシェンゲン保護のための現実的な対策をもたらすことになると確信する」と述べた。また、両首相は、ギリシャがEU域外国境管理に係る義務を履行しない場合の対応策の準備に関して合意した。

## 社会

#### ◆2015年の犯罪発生数（15日付スメ紙）

スロバキア警察が発表した2015年の県別の犯罪発生マップは、1993年の独立以降では最良の結果を示している。犯罪発生数ではブラチスラバ県が

1万4145件でワースト1となり、何らかの犯罪に巻き込まれるリスクが最も高いのはコシツェ県とトゥルナヴァ県であった。最も治安が良いのはトレンチーン県であった。国内全体の犯罪件数は7万3163件で、解決しているのは4万1747件である。最も多い犯罪は窃盗で2万9094件であった。次いで経済犯罪が1万5661件となっている。

#### ◆ホロコースト博物館の開館（27日付スメ紙）

スロバキア西部のセレディ（Sereď）においてスロバキアで初めてのホロコースト博物館の開所式が行われた。式典には、キスカ大統領、フィツォ首相、ペレグリニ国会議長に加えて、ソボトカ・チェコ首相、イスラエル国会副議長等が出席した。第2次大戦中のスロバキアのユダヤ人強制収容所の中で、大戦後に兵舎となったセレディのみが現存していた。博物館の資料によると、1944年9月から1945年3月までの間、セレディには約1万2000人のユダヤ人が収容されていた。ホロコースト博物館の一部は、国立博物館所属ユダヤ文化博物館が管理し、ホロコーストに関する教育センターとして活用される。

### 経 済

#### ◆2015年の自動車生産台数100万台達成（11日付TASR通信）

スロバキア自動車産業連盟（ZAP）のシナイ会長は、速報値に基づき、2015年に初めてスロバキアの自動車生産台数が100万台を超えたことを発表した。スロバキアは過去2年に渡って、人口当たりの自動車生産台数で世界第1位となった。また、自動車生産は2015年のスロバキアの輸出の35%に寄与した。自動車関連部門はスロバキアにおいて20万人以上を雇用している。ZAPによると、自動車産業にとっての長期に渡る問題はサプライヤーの立地の偏りであり、東部は西部に大きく遅れをとっている。

#### ◆スロバキア及びイラン企業の契約合意（21日）

イランを訪問したスロバキア企業代表団は、環境に配慮した原油貯蔵設備の建設や小型プロペラ機の製造に関するプロジェクトに関して、イラン側と大筋で合意した。契約総額は1億ユーロに上る。今回の企業代表団訪問はカジミール財務相のイラン訪問に同行したものであった。スロバキアはイランとの企業間協力を進展させる最初のEU加盟国の1つとなった。イランへの経済制裁解除を機に、貿易及び投資支援を進めていく。投資及びビジネス支援の分野では、イラン投資・経済・技術援助機構とスロバキア投資貿易開発庁との覚書の署名も行われた。

## ◆スロバキア中央銀行月報（1月）

### 1. GDP

スロバキアの2015年11月の生産統計（売り上げ、鉱工業生産及び輸出）はユーロ圏とは異なり比較的好調で、前期比での伸びが更に加速した。11月の売り上げの伸びは、前期比で加速した。特に鉱工業部門の貢献が顕著であるが、中でも売り上げ、更に生産統計全体の伸びの大部分を占めたのは自動車産業であった。電機産業も売り上げの伸びに大きく貢献した。11月の全体の売り上げは前年同期比で7.7%に加速した。11月の鉱工業生産も自動車産業の貢献により非常に好調な動きを示した。

### 2. 雇用率及び賃金

12月の雇用率は前月比では0.1%増とわずかな伸びに留まったものの、前年比では2.1%と堅調な伸びを示した。産業別では、サービス部門、とりわけ、IT、ホテル及び飲食部門において最も多くの雇用が創出された。失業率にも改善が見られた。12月の季節調整前の登録ベースでの失業率は、前月比で0.14%低下して10.63%となった。11月の平均賃金は2015年下半期の賃金上昇傾向が継続して、前年同期比で10月の3.9%から4.7%に伸びが加速した。サービス部門における賃金の伸びが顕著であった。

### 3. 物価

2015年12月の消費者物価指数は、前年同期比で-0.5%、前月比で-0.3%であった。12月の前年同期比での物価の下落は、中銀予測を上回った。クリスマス商材（砂糖、小麦粉、卵等）の価格下落も食品価格の下落をもたらした。燃料価格に影響される輸送コストの下落もクリスマス前の食品の値下げを促進した。2015年1月との比較で大幅なユーロ安となっているにも関わらず、エネルギー以外の鉱工業製品も物価下落に作用した。

### 4. 貿易

第4四半期の輸出は第3四半期と同様のペースで増加する見込みである。自動車産業が輸出の伸びに最も貢献すると見られる。11月の輸出は前年同期比で9.5%増、輸入は8.6%増加した。11月の貿易黒字は3億1700万ユーロであった。

（了）

# スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

